

# 令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社 東京コンサーツ
公演団体名	組踊伝承の会

内容
<p>① 沖縄及び、沖縄の古典芸能について説明 ② 舞踊の見本演舞 ③ 舞踊の所作「こねり手」「ドゥーブイ」の体験 ④ 三線の楽器説明 ⑤ 三線の演奏に合わせて「浜千鳥」の1番を踊る。</p> <p>ワークショップでは、琉球舞踊を実際に体験していただき、沖縄の古典芸能に直に触れていただく。中でも特徴的な、「手踊り」という、手のみで行う、独自の舞踊表現を体験していただく。演目は「浜千鳥」をとりあげ、手ぶり「こねり手」、身ぶり「ドゥーブイ」を、見本演舞で見えていただき、実際に手ぶり身ぶりの練習をおこない、三線の生演奏にあわせて踊る。</p>

タイムスケジュール（標準）
沖縄や沖縄の芸能についての解説（15～20分程） 演舞の見本、踊りの体験（15～20分程） 休憩（10分） 三線の楽器説明（10分程） 三線との「浜千鳥」舞踊体験（20分程） ※解説や鑑賞のタイミング変更可能性あり

派遣者数
演者5名＋同行スタッフ1名

学校における事前指導
特になし。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社 東京コンサーツ
公演団体名	組踊伝承の会

<b>演目</b>
第1部 琉球舞踊・組踊解説 若衆踊り「若衆ぜい」 雑踊り「浜千鳥」  組踊ってなあに？ ①組踊の歴史 ②組踊の音楽 ③組踊の舞台演出 ④組踊のせりふ  第2部 組踊 執心鐘入(玉城朝薫作)

<b>派遣者数</b>
演者 13名＋同行スタッフ 5名（舞台監督、字幕、音響、照明、マネージャー）

<b>タイムスケジュール（標準）</b>					
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
10時	10時～12時	13時～15時	10分	15時～16時	16時

<b>実施校への協力依頼人員</b>
特に要望しません（子供の整列要員として、先生方にご協力いただいております）。

## 演目解説

### 第1部 琉球舞踊・組踊解説(35分)

組踊と深い関係にある、琉球舞踊の「若衆踊り」と「雑踊り」を鑑賞していただき、琉球の音楽・舞踊・衣装について理解を深めていただきます。

楽器や舞台進行の約束事「型」、登場人物の表現方法、組踊の概要について解説者がわかりやすく紹介いたします。

若衆踊り「若衆ぜい」は、元服前の少年が「ぜい」という天下泰平を寿ぐ小道具(旗)を振りながら舞う華やかな作品です。雑踊り「浜千鳥」は、琉球独特な手ぶり「こねり手」、身ぶり「ドゥーブイ」が、ふんだんに盛り込まれた女踊りで、帯を用いずに着付ける「ウシンチー」等、分かりやすい琉球独自の表現を用いて、子どもの意識を引き込む事を意識します。

休憩(10分)

### 第2部 組踊「執心鐘入」(45分)

組踊「執心鐘入」は、1719年に初演された組踊の初作品です。

道成寺説話の系譜にある「道成寺もの」の一つ。琉球独自の人物場面設定になっており、道成寺説話の広がりを示す貴重な作品と言えます。

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

沖縄の古典芸能は、日本における様々な文化のルーツとなっているものの、現代人にはなじみのないジャンルである事から、まずは、沖縄の歴史や古典芸能について、分かりやすく説明する。ワークショップの体験では、実際に立ち上がって演舞をしていただくことで、琉球舞踊や組踊のリズム感を、身体表現を通して、体感していただく。

また、三線の楽器説明や、三線の生演奏で踊る事で、本公演の内容にも関心と期待を持っていただけるよう、工夫を凝らす。本公演の内容は、子供にも筋書きが分かりやすい演目を選んでいる。

## 児童生徒とのふれあい

ワークショップの時においても、子供が楽器に直接触れる機会や、演者が手取り指導をする機会を設けて、子供が安全に体験出来るための準備をしている。



